

予算の お知らせ

平成27年2月17日の組合会において、当健康保険組合の平成27年度予算が可決されました。今年度から実施される*データヘルス計画にかかる費用や、後期高齢者支援金の算出方法の変更等を見込んだ予算編成を行いました。

*データヘルス計画：国の日本再興戦略の一環として、みなさまの健診データやレセプトデータを分析することで、より効果的な保健事業を実施し、医療費の増加防止をめざす事業です。

おもな収入

保険料収入

健保組合の収入のほとんどは、みなさまからの保険料です。今年度は、前年度比1：4億円減の99億円が見込まれます。

国庫補助金収入

糖尿病等の重症化予防事業の実施に要する費用、特定健診にかかる費用等のための補助等があります。また、マイナンバー（社会保障・税番号）制度の運用開始に向け、システム整備等の補助も含まれています。

おもな支出

保険給付費

お医者さんにかかったときの窓口自己負担（1～3割）以外の医療費は、保険給付費として健保組合が負担しています。また、出産や傷病時の各種手当金なども保険給付費に含まれます。

高齢化や医療技術の進歩により、保険給付費の増加が見込まれていること、1月から施行された高額療養費の制度改正等をふまえ、今年度は、42億円を計上しました。しかし、保険給付費は、みなさまのこころがけ（ジェネリック医薬品の使用、適正受診、健康の維持等）によって節減が可能です。今年度も引き続きご協力をお願いします。

収入支出予算額

健康保険

105億1,500万円

介護保険

7億5,400万円

保険料率

	被保険者	事業主	合計
健康保険	30/1000	55/1000	85/1000
介護保険	5.5/1000	5.5/1000	11/1000

各種納付金

みなさまの保険料の1/3以上が高齢者の医療費として国へ拠出されています。今年度は、65歳から74歳の方の医療費（前期高齢者納付金）及び75歳以上の方の医療費（後期高齢者支援金）として35億円を支出いたします。団塊の世代が前期高齢者となったこと、後期高齢者支援金の算出方法が変更（*総報酬割部分が1/3から1/2に引き上げ）されたこと等を見込んだ額となっています。いずれにしても健保組合の負担はますます重くなっています。

*総報酬割：加入者の所得に応じて算出する方法。平成26年度までは、1/3を総報酬割、2/3を加入者割（人数に応じて算出）としていたが、平成27年度から総報酬割部分を1/2、平成28年度は2/3と段階的に引き上げ、平成29年度には全面総報酬割に移行する予定。

経常収支

その結果、平成27年度の一般勘定の経常収支は12億円の黒字予算となりました。平成26年度の決算も好決算が見込まれており、今後の高齢者のための拠出金増へ一定の備えができています。

保健事業費



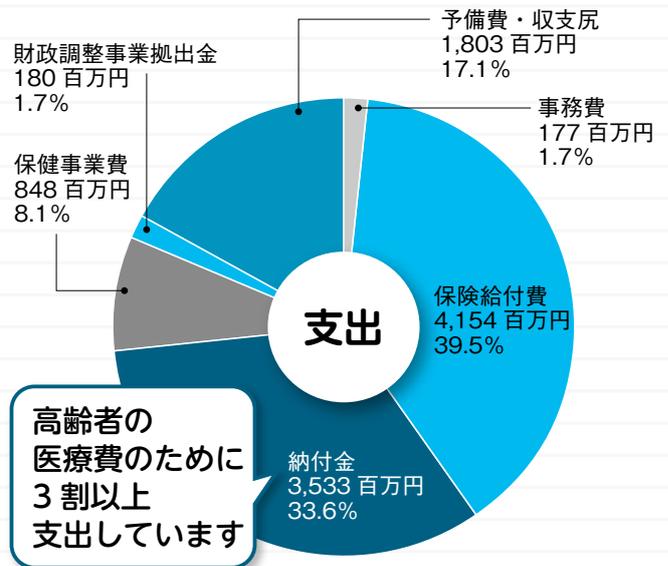
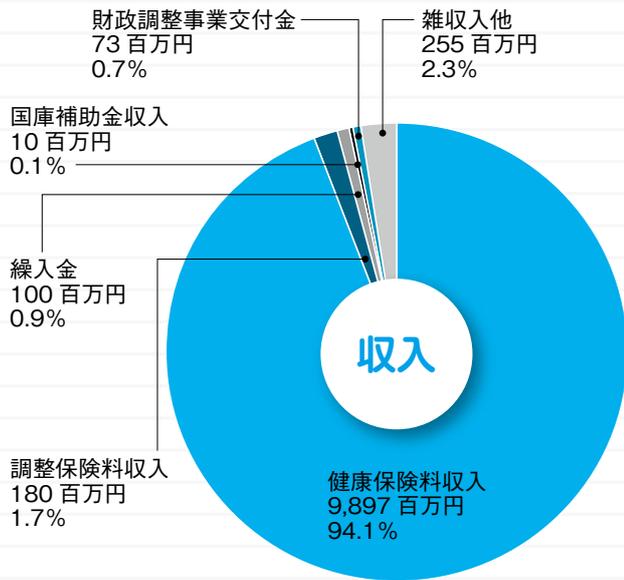
みなさまの健康づくりを推進するための費用として8.5億円を見込みました。今年度は、データヘルス計画開始年にあたり、計画策定に則った保健事業を円滑に進めていくための費用を計上しています。

平成27年度収入支出予算を グラフでみると…

予算の 基礎数値 (一般勘定)

■被保険者数	14,282人
■平均標準報酬月額	520,683円
■総標準賞与額	36,052百万円
■平均年齢	39.4歳
■扶養率	0.93人
■前期高齢者加入率	6.47%

一般勘定



支出を1人当たりでみると…

※予備費は除く



介護勘定

